

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日	8年 4月 1日
------	--	-----	----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		人数や活動に応じてスペースを分ける等の工夫をしている。運動するための十分なスペースを確保している。	-
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	子ども3名に対して1名の職員を配置し、支援に当たっている。また、保育士、指導員、リハビリ職員など職種による支援を行っている。	職員の退職により、職員配置が不足することがありました。十分な職員配置を行える様に職員の確保を行っていきたく思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動の用途によって、使用する部屋を分けている。子どもにとって何をする場所が分かりやすいように配慮している。物品を減らして、子どもにとって視覚情報が多くなりすぎないように配慮している。	構造化や視覚支援の取り組みについて、職員間で勉強会を実施し、より生活しやすい環境を整えるよう努力をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の清掃、消毒を実施し、清潔にしている。活動に応じてスペースを変えている。また、清掃回数を増やし清潔な環境を保てるように配慮した。	清掃の回数を増やしました。細かなゴミや髪の毛、埃などにも気を配り清潔な環境を整えられるように配慮していきたく考えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		療育に関わる職員で話し合う場を持ち、意見交換している。目標や支援内容の振り返りについて年間計画を立て、実施している。	子どもの目標や支援内容について医師や他の専門職の意見を聞く場を設け、検討する機会を作りました。今後も継続していきたく考えています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者アンケートに寄せられた意見を職員で共有し、対応について検討し、実行している。	保護者からの意見やアンケートの結果を参考に改善できる部分については努力をしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			当施設では実施していません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		月に1〜2回のペースで定期的に勉強会を開催し、職員研修を行っている。	今後も勉強会を継続し、職員の知識や技術獲得に努めたいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントグループ(プレ療育グループ)を実施し子どもの観察を踏まえてアセスメントを行っている。言語面・運動面の発達に関してアセスメントツールを用いて評価を実施している。	包括的な発達評価をおこなうために客観的なアセスメントツールを導入しました。得られた結果を基に目標を設定し、支援に繋げていきたく考えています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		それぞれの子どもの目標や発達の課題を意識し、支援にあたるように努めている。また、毎回の振り返りにて、目標を確認し子どもの様子について話し合いを行っている。	中間評価や個別支援計画の更新をスケジュールにそって遅延なく実施して行きたいと考えている。個別的な支援をより充実させたいと考えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		保育士が中心になって活動プログラムの立案を行っている。専門職の意見を積極的にとり入れ、チームでプログラムを立てられるよう配慮した。	活動プログラムの立案に関して、リハビリ専門職からの意見を積極的に取り入れ、活動プログラムに活かしていきたいと考えています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		運動遊びや製作遊び、ルールのある遊びなど、子どもが様々な体験ができるように工夫している。また、季節の行事などを取り入れるようにしている。	年齢や発達段階に応じた課題設定、活動内容の設定、またグループごとで特色のある活動をより充実させたいと思います。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		グループ活動では、集団での活動を主に実施している。一部のグループでは、集団活動と併行して個別活動を行っている。	年少、年中児のグループにおいて個別支援の時間を設けて支援を実施しました。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		保育士がプログラム立案、作成し、それを基に職員間で共有している。グループ開始前に打ち合わせを行っている。	各職員が事前にプログラムを把握し、自分の役割、責任をもって取り組む事ができるようにしたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育終了後には職員で振り返りを行っており、子どもの目標にそって、その日の様子や課題などを確認している。	-
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		子どもの様子、目標に対しての状態や課題などを記録している。職員研修等を通じて記録の取り方を学び、実践している。	職員研修を通じて、支援に役立つ報告の方法、記録の取り方を学んでいきたいと考えています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		3か月に1回のモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。医師や他職種のスタッフを含めた振り返りの機会を持つようにしている。	子どもの様子について職員間で話し合う時間を十分に確保していきたいと考えています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	担当者会議には児童発達支援管理責任者と、アセスメントグループの担当者が出席している。	担当者会議に日常の支援に当たっているグループの担当職員が出席して、普段の様子を共有できるようにしていきたいと考えています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関からの要請にこたえて連携を図っている。	要請に答えるだけでなく、こちらからも積極的に関係機関との連携を図ってきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問支援を活用し、保育園・幼稚園・こども園との情報共有や支援の連携を図っている。今年度は訪問支援員を増員し、訪問頻度を増やした。	定期的な訪問や、担当者会議などを通して、一貫した支援が受けられるように情報提供を行い、関係機関との連携を図ってきたいと思っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	小学校や特別支援学校(小等部)との連携については、移行期に終期評価を行い、保護者に文書にて報告を行っている。	小学校などの進学先に、どのような情報を伝えると良いのかを保護者と相談し、共有する機会を作れるとよいと考えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		研修等に参加し、児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携を図っている。	地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所との連携を充実させたいと思っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			当施設では実施していません	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者が前向きに子どもの発達を受け止められるよう、成長や今後の見通しなどに注目し支援している。保護者から、個別に相談する機会を増やして欲しいといった要望が聞かれた。	家庭での様子、園での様子、地域での様子に着目して、保護者と積極的にコミュニケーションをとりたい。より細やかに相談対応を行える体制を整えていきたいと考えています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		子どもへの対応や、就学に向けた情報提供など、月に1回、保護者の勉強会を行っている。	保護者の希望などを伺い、ニーズにあった情報提供や学習の機会を設けていきたいと考えている。次年度はペアレントプログラムを実施したいと思っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時に重要事項説明書を用いて、運営規程や利用者負担等について説明を行っている。	-
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を実施している。保護者の希望や子どもの状態に合わせながら目標と支援を保護者と共有している。	支援目標や支援方法が保護者より具体的に明確に伝わるようにしたいと考えています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		月に1回程度、保護者との面談を行っている。保護者から、個別に相談する機会を増やして欲しいといった要望が聞かれた。	保護者の困り感や希望に添った支援を行いたい。保護者との面談の機会を増やし、より細やかに相談対応を行える体制を整えていきたいと考えています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現在、父母の会は実施していない。保護者同士で交流の持てる機会として、年4回座談会を開催した。	保護者同士で話し合いの行える機会を増やしていきたいと思えます。また、勉強会をグループワーク中心の形で実施したいと考えています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談の希望があった場合や、電話での問い合わせに対応している。	保護者の相談にタイムリーに対応できるように、子どもの様子を共通理解し、相談に努めたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1回、通信を発行し、参加者に配布するとともにHP上に公開している。	-
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには規定をもうけて、実施している。	-
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者や子どもに職員から積極的に関わり、コミュニケーションをとるように努めている。	子どもや保護者への挨拶、声かけを徹底して行ってきたいと考えています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		感染対策のため、現在は実施していません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、年に2回避難訓練を実施している。BCPを作成し、職員研修を実施した。	避難経路、避難順序などがすべての保護者に周知できるよう、定期的に案内を行っていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		マニュアルを作成し、年に2回避難訓練を実施している。	-
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		アセスメントにて服薬状況や身体疾患等の情報を聴取している。	-
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			食事支援を実施していません	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハットの記録を作成している。子どもが安全に活動を行えるよう、環境に配慮している。	職員研修を実施し、危機管理や事故怪我防止のための取り組みを職員間で共有し、対応していきたいと思えます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に職員研修を行い、子どもに対しての関わり方について学ぶ機会を設けている。	子どもの人権を尊重し、支援に当たれるようにより一層の努力をしていきたい。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	身体拘束は実施していない。身体拘束について、研修会を開催した。	-	